

ハンディシステム 取扱説明書

【はじめに】

本説明書でご説明するハンディは、その操作において画面を直接タッチして行うタッチパネル方式になっています。操作は画面をタッチする事と、キーボードにより入力する事で行えます。

ここでは、ハンディの操作において共通的な内容や注意点をご説明します。

○ 操作モード

操作モードは大きく二つに分かれます。一つは「タッチモード」、もう一つは「入力モード」です。

「タッチモード」は画面をタッチすることにより操作を行いますが、「入力モード」となっている場合は、それを解除しないと「タッチモード」による操作を行えません。

「入力モード」の解除は入力待ち画面（画面の入力項目に「■・・・」が表示されている状態）でキーボードの「入力」キーを押すことにより行うことができます。

「入力モード」は入力項目に対してキーボードの数字の入力（ペンスキャナでの商品コードの入力含む）を行います。数字を入力した後必ず「入力」キーを押して下さい。入力を間違えた場合、「クリア」キーを押すことにより入力し直しができます。逆に「タッチモード」の時はキーなどの入力できません。その場合入力したい項目をタッチすることにより入力ができます。

○ 電源投入・切断

電源を入れる場合は「電源」キーを押して下さい。「中村冷菓 system menu」画面が表示されます。電源を切る時は「中村冷菓 system menu」画面で「システム終了」をタッチして下さい。

また、ハンディの操作をしばらく行わずにいると自動的に電源が切断されますが、操作の途中や処理画面のままで自動切断を行うとハンディが誤動作を起こす可能性があるのなるべく手動で電源を切るようにして下さい。

○ バッテリーの充電

ハンディは受電式のバッテリーにより動作します。バッテリーの充電不足や長時間の利用により、バッテリーがなくなると動作できないだけでなく、情報の正しい記録などができなくなる場合があります。また、電池が切れたまま長時間放置しておくと、ハンディ内の情報が失われる可能性があります。絶えず十分な充電・定期的な交換を心がけてください。

○ その他注意（下記の誤った操作を行うと故障の原因になります。）

- ・通信用モデムカードを抜き差しする時は、必ず電源が切れている事を確認して下さい。
- ・電源を入れたままバッテリーを抜かないで下さい。

1. 売上処理（売上・見本・返品・現金店入金・伝票印刷）

①

SYSTEM MENU	
売 上	伝 票
入 金	日 報
積 込	持 戻
棚 卸	通 信

システム終了

・メニューの「売上」をタッチします。

②

売上得意先指定	
伝票No.	
得意先	
インターメディア	
伝票種別	2
自社伝票	
取引区分	現売
売価掛率	100%
実行	戻る

・「得意先」をタッチして得意先番号を入力します。
（伝票No.、伝票種別等は自動表示されます）
・売価掛率を変更する場合「売価掛率」をタッチして掛率を入力してください。
・「実行」をタッチすると次の画面に進みます。

③

売上種別登録	
伝票No.	12345678910
インターメディア	
売上	見本
良品返品	不良返品
前伝発行	戻る

・入力したい売上種別をタッチすると次の画面に進みます。
（この画面は⑦と同じです）

④

売上処理（売上）	
インターメディア	
商品	4901372202176
バニラアイス	
100	売価 180¥/ヶ
70.00	単価 1260¥/ヶ
単品	販売 1ヶ
0	ヶ
70.00%	金額 1260
00.00%	合計 1260
記 録	単 価 戻 る

・商品番号を入力するかバーコードをスキャンして商品を指定し、ケース・バラ数量を入力してください（単価等は自動表示されます）
・「単価」「売価」を掛率に合わせて変更する場合は、画面下の「単価」をタッチして変更して下さい。掛率に関係なく変更をしたい場合、直接「単価」「売価」をタッチして変更して下さい。
・「販売」左側（④の画面では「単品」の部分）をタッチすると「単品」「グループ」の切替（注）ができます。

※次の商品を入力する場合は続けてバーコードスキャン、又は商品番号を入力してください。
※最後の商品の入力が終わったら商品コード入力状態で入力を押して必ず「記録」をタッチしてください。

伝票の入力が終わったら「戻る」をタッチして下さい。得意先が現金支払の場合レシートが印刷されて、⑤の画面に進みます。掛売店の場合、⑧の画面に進みます。

⑤

入金処理（残： 0円）	
伝票No.	12345678910
インターメディア	
現 金	3189 円
金 券	1000 円
ギフト	0 円
当たり	0 円
手 形	0 円
期 日	00 年 05 月 30 日
その他	0 円
記 録	戻 る

・最初売上額が全ての「現金」に表示されていますので他に必要な金種がある場合、その場所をタッチして金額を入力して下さい。
・入金内容を確認後、「記録」にタッチするとレシートが印刷され「戻る」をタッチすると⑥の画面に進みます。
※「金券」「ギフト」「当たり」「その他」に金額を入力すると自動的に現金からその金額が引かれます。

⑥

入金得意先指定	
伝票No.	12345678910
得意先	001001
インターメディア	
残 高	0 円
実行	戻る

・ここでは「戻る」をタッチします。
⑦の画面に進みます。

⑦

売上種別登録	
伝票No.	12345678910
インターメディア	
売上	見本
良品返品	不良返品
前伝発行	戻る

・現金店の場合、そのまま「戻る」をタッチすると②の画面になり、続けて入力できます。
・掛売店の場合、「前伝発行」をタッチして「伝票印刷処理」画面を表示し、車載プリンターで伝票を印刷します。
（4. 伝票印刷処理②参照）

※伝票印刷処理②の画面で、間違えて記録した伝票の削除もできます。また、伝票No. を指定して、伝票印刷、伝票削除も行えます。

注）グループ入力

1 ケースの入数と単価が同じ商品を複数入力する場合、グループとして入力できます。具体的には複数の商品を印刷時に1つの行にまとめられ、商品名にはグループ名だけ印字されます。また、単価・売価を変更する場合はグループで入力した最後の商品の単価・売価を変更して下さい。

2. 入金処理（基本的には掛売店の入力の入力を行います。）

①

SYSTEM MENU	
売 上	伝 票
入 金	日 報
積 込	持 戻
棚 卸	通 信
システム終了	

・メニューの「入金」をタッチします。

②

入金得意先指定	
伝票No.	
得意先	
残 高	円
実行	戻る

・「得意先」をタッチして得意先番号を入力します。
・「実行」をタッチすると次の画面に進みます。

③

入金処理（残： 0円）	
伝票No	
現 金	円
金 券	円
ギフト	円
当たり	円
手 形	円
期 日	年 月 日
その他	円
記 録	戻る

・必要な金種をタッチして金額を入力してください。
・入金内容を確認後、「記録」→「戻る」の順にタッチすると前の画面に戻ります。

④

入金得意先指定	
伝票No.	
得意先	
残 高	円
実行	戻る

・「戻る」をタッチするとメニューに戻ります。

3. 入出庫処理（積込・持戻・棚卸） ※積込・持戻・棚卸ともに入力手順は同じです。

①

SYSTEM MENU	
売 上	伝 票
入 金	日 報
積 込	持 戻
棚 卸	通 信
システム終了	

- ・入力したい出庫処理（積込・持戻・棚卸）のボタンをタッチします。

②

入出庫 積込処理		
商品		
入数	C/ケ	
積込数	ケ-ス	c
	バラ	ケ
記 録	中 止	戻 る

- ・商品番号を入力するか、バーコードをスキャンして商品を指定します。
- ・積込（持戻・棚卸）するケース数を入力してください。
- ・積込（持戻・棚卸）するバラ数を入力してください。
- ・入力し直したい時は「中止」を押すとクリアされます。
- ・商品・ケースバラ数が正しければ「記録」をタッチして下さい（レシートに1件印字されます）
- ・引き続き商品を入力したい場合はそのまま次の商品を入力して下さい。
- ・「戻る」をタッチすると前の画面に戻ります。

4. 伝票印刷処理 ※「売上処理」の「前伝発行」も入力手順は同じです。

①

SYSTEM MENU	
売 上	伝 票
入 金	日 報
積 込	持 戻
棚 卸	通 信
システム終了	

- ・メニューの「伝票」をタッチします。

②

伝票印刷処理		
伝票No.		
得意先		
伝票種別		
印刷	削除	戻る

- ・「伝票No.」をタッチして印刷したい伝票番号を入力します。
(前伝発行の場合は入力する必要はありません。)
- ・画面に表示された得意先名と伝票種別を確認して、
車載プリンタに伝票をセット後「印刷」をタッチして下さい。
(印刷する伝票が2枚以上にまたがる場合、1枚目の印刷が
終わったら次の伝票を入れて下さい。)
- ・「戻る」をタッチすると前の画面に戻ります。

③

伝票削除の確認	
指定された伝票を削除 します。実行してもよろ しいですか？	
OK	キャンセル

- ・伝票データ呼び出して、「削除」をタッチすると、
呼び出した伝票データを削除できます。左の画面で
「OK」をタッチすると伝票を削除できます。

5. 通信処理（マスタ受信）

①

SYSTEM MENU	
売 上	伝 票
入 金	日 報
積 込	持 戻
棚 卸	通 信
システム終了	

・メニューの「通信」をタッチします。

④

受信処理	
通信対象	得意先マスタ
通信状態	指示待ち
通信件数	
<div>実行</div> <div>戻る</div>	

・通信アダプタのランプが点滅していることを確認して「実行」をタッチして下さい。
 ・受信（送信）終了が出たら通信終了です。
 ・「戻る」をタッチすると③の画面に戻ります。

②

通信処理	
得意先	売 上
商 品	積 込
営業所	持 戻
担当者	棚 卸
次項へ	戻 る

・通信したい対象をタッチします。この画面に処理が無い場合は「次項へ」をタッチして「通信処理2」③に画面を変え通信したい対象をタッチします。
 ・ハンディを通信アダプタにセットします。

③

通信処理2	
メーカー	全件受信
グループ	
通常掛率	
特殊建直	接続確認
品 種	戻 る

《全件受信》

受信処理	
通信対象	マスタ受信
通信状態	指示待ち
通信件数	
<div>実行</div> <div>戻る</div>	

・すべてのマスタを受信します。「通信対象」には受信中のマスタが表示されます。

※注意※

・パソコン側であらかじめマスタの送信準備を行ってから、受信を実行して下さい。
 （パソコンで送信しながらの受信実行ではありません）

・ハンディでの受信処理は、連続して行なうことが可能です。

6. 通信処理 その2（売上データ送信）

- ①
- | SYSTEM MENU | |
|-------------|-----|
| 売 上 | 伝 票 |
| 入 金 | 日 報 |
| 積 込 | 持 戻 |
| 棚 卸 | 通 信 |
- システム終了
- ・メニューの「通信」をタッチします。
- ④
- | 送信処理 | |
|------|-------|
| 通信対象 | 売上&入金 |
| 通信状態 | 送信終了 |
| 通信件数 | |
- 実行 戻る
- ・受信（送信）終了が出たら通信終了です。
・「戻る」をタッチすると③の画面に戻ります。
- ②
- | 通信処理 | |
|------|-----|
| 得意先 | 売 上 |
| 商 品 | 積 込 |
| 営業所 | 持 戻 |
| 担当者 | 棚 卸 |
| 次項へ | 戻 る |
- ・「売上」をタッチします。
- ③
- | 送信処理 | |
|------|-------|
| 通信対象 | 売上&入金 |
| 通信状態 | 指示待ち |
| 通信件数 | |
- 実行 戻る
- ・ハンディを通信アダプタにセットし、通信アダプタのランプが点滅していることを確認して「実行」をタッチします。

○売上データ送信後の注意

- ・ハンディから売上データ送信後、必ずパソコン側で受信処理を行なってください。
- ・パソコン側での受信処理は、ハンディ1台ごとに行なってください。

7. システム情報 ※この画面は基本的には操作する必要はありません。

①

このあたりです。

SYSTEM MENU	
売 上	伝 票
入 金	日 報
積 込	持 戻
棚 卸	通 信
システム終了	

- ・メニュー最上部のタイトルの右上あたりをタッチします。

②

システム情報		
日 付	年 月 日	
時 刻	時 分	
営業所	01	
担当者	02	
伝票No.		
更新		
戻る		

- ・変更したい内容をタッチして必要な値を入力して下さい。
(日付・時刻は変更できません。)
- ・伝票番号は次に登録される伝票番号になります。
- ・「戻る」をタッチするとメニューに戻ります。

8. その他 ハンディの日付・時刻を変更する場合、エラーになった場合

- ① 電源を入れた状態で、裏側の「リセットボタン」を先の細いもので押します。
- ② 画面が暗くなっている状態で、「SFT」「CLR」「F2」の 3 つボタンを同時に押し続けます。
- ③ 画面が表示されたら、手を放します。
- ④ 「1.コントロールパネル」をタッチして画面を開き、「日付/時刻」をタッチして「ENT」を押します。
- ⑤ 「日付/時刻のプロパティ」の画面が開き、カレンダーが表示されます。
- ⑥ カレンダーから設定する日付をタッチします。
- ⑦ 時間の「時」の欄をタッチして、数字で入力します。
- ⑧ 同様に「分」「秒」も入力し、「適用」ボタンをタッチします。
- ⑨ 画面右上の「OK」をタッチして画面を終了します。
- ⑩ 画面右上の「×」をタッチして画面を終了します。
- ⑪ 「0.終了」をタッチすると電源が切れます。
- ⑫ 電源を入れると通常のメニューが表示されます。

※ハンディ使用中、エラーが発生した場合

上記①②③の操作後、⑪⑫の操作を行ってください。